

●東京都議会議員 現職 2期目／自由を守る会

上田 令子

うえだ
れいこ

都議会 2021
春号
NEWS



～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中！～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 tel&fax 03-3878-9032 ✉uedareiko@gmail.com

上田 令子

検索



チェック

都議は知事と都政を監視するのが使命です。

緊 急事態宣言中の政府与党国会議員らのハシゴ酒、テレビ電波権利害関係会社に勤務する総理子息による総務省官僚の違法接待発覚と国民の怒りは爆発。一方、私たち庶民生活に直接寄与しないスキャンダルばかりつるし上げている野党にも納得いかぬ都民から、「議員のシゴトって何なの？」という声が届いております。

地方議員は、知事や区長を支えるものだと思われている方も多いようですが、少し違います。「**知事ではなく都民を支える**」ことが都議の仕事です。なぜならば、都民の「代弁者」として選挙された責務があるからです。では、その任務とは何か？ズバリ「知事と都政（役所）の監視をする」ことです。緊急事態宣言下も、会社員は源泉徴収で、自営業者は薄紙をはぐ利益の中から納めて頂く税金。誰もチェックしなければ、古今東西お役所というのは、住民ニーズはそっちのけ。あればあるだけ使い果たし、足りなくなればハイ、増税！では、たまったものではありません。そこで、「ちょっとまったあ！」と知事・役人の暴走や、肥大化する行政を食い止める使命が議員にはあるのです。

コ ロナ禍は、今後も都民生活を直撃していくこととなります。厳しい現実と向き合い、打ち出の小槌ではない都財政のお財布のヒモも自らの心も引き締め、都民生活を守るために悲壮な覚悟をもって都政に臨むことこそが、知事にも、都職員にも、我々都議会議員にも求められているのです。

うえだれいこプロフィール

台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大国文科卒。外資系生保等数社を経て起業も。

2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選、17年2期連続再選。現在公営企業委員会所属。『自由を守る会』代表。



コロナ禍に乗じた 空前絶後のバラマキ予算！ ～デジタルもいいけれど、今は人へ～



グリーンボンド、フィンテック支援ファンド、アジャイル、東京版ニューディールTV、デジタルツイン実現プロジェクト、官民連携データプラットフォーム、ゼロエミッション東京…これら、『東京都予算の概要』に並んだ言葉から、みなさんは、自分の生活の何に役立つ都政事業なのか想像がつかますでしょうか？新年度予算は、これまで以上にヨコモジ満載で、私ですらも、税金を投入する理由と効果、必要性が一読ではサッパリわかりませんでした。

コロナ禍がまだ対岸の火事だった昨年1月、小池都政はオリパラ景気に浮かれ過去最大級の予算を編成。「盛り上がっているのに水を差すな！」という知事与党からの批判をよそに、上田は「有事に備え無駄を省くべし」と苦言を呈しておりました。結果はいかがだったでしょうか…。我ながら、寒気がする予言をしていました。

注目の令和3年度予算、税収は4,000億円も減少。都の貯金も底をつき始めているにも関わらず、全会計総額は前年度対比3.3%増の15兆1,579億円。過去最大規模となる新規事業430件に800億円も計上し、カタカナ・キラキラ事業てんこ盛りの「贅肉まみれ」大型予算に、またしてもなってしまいました。国際金融都市実現、デジタル化推進、ベンチャー企業からの資金調達・投資の必要性はわかりますが、「それ、今ですか？都がやることですか？」と申し上げます。私ならどうするか？迷わず人々の暮らしと人生を豊かにする、「教育・福祉・地域医療」を優先します。

都民に不要不急の外出自粛を求めるのであれば、
不要不急のムダ事業を自粛して、都民生活直結事業へ
最優先投資すべし！

マイノリティを排除!?

上田の発言権を奪う東京都議会

～全国唯一、驚愕の予算特別委員会運営～

女性蔑視発言に端を発したオリパラ組織委員会交代劇の渦中、小池知事も都議会も「多様性」「ジェンダーギャップ解消」を求むと口にしていましたが、そのおひざ元の都議会はどうか。他道府県議会においては、すべての議員が予算特別委員会に出席できる民主的運営をしているのに対し、都議会では、大会派の決定により私にその機会は与えられていません！理由は、無所属だから？それとも、過去最多級の質疑を繰り出す「わきまえない女」だからでしょうか？

一年間の都民の暮らしを決める予算委は、議会の要。知事に忖度せず、労働組合の言うなりにならず、しがらみゼロで都政に斬り込める私のような議員が不可欠であることは、言うまでもありません。有権者は政党・会派名ではなく、議員個人に一票を投じています。にもかかわらず、大会派が無所属の女性議員というマイノリティを排除し、発言権を奪う悪しき慣習が、「ダイバーシティ東京」を謳う議会で今なお続いていることを、是非知ってください。

▼上田除外の予算委設置
可決の瞬間(2021.2.26)

救いとなりましたのは、この由々しき実態に対し都民・国民から「上田都議を予算委へ」という30通ものご意見が都議会に寄せられたことです。議場で私を排除した予算委設置動議に、上田が唯一人で反対しても、私は孤独ではないと勇気づけられました。



民主主義の道のりは気が遠くなるほど時間がかかるもの。
諦めず目の理不尽と根気強く闘っていくことで議会改革を進めてまいります。後に続く人のために。

葛西臨海水族園本館

“解体ありき”を覆す

～公共文化財は都民の“記憶財産”～

2019年12月、地元のランドマークである葛西臨海水族園本館の改築計画が、解体ありきで進められていることが明らかになりました。ホテル



▲葛西臨海水族園本館(都HPより)

オークラの設計に携わった谷口吉生氏の手による建築物とあって、その後、そうそうたる建築家と地域住民が保存を求めるシンポジウムを開催。メディアにも取り上げられ、国内外に知れ渡ることとなりました。

こうした中で開催された、都による『葛西臨海水族園事業計画検討会』は大紛糾。通常、この種の審議会は予定調和で進むものですが、反対意見の委員数名がなんと辞任！また、ハーバード大、イエール大からは小池知事へ存続を求める要望書が、さらには日本建築家協会から新たな提案が出された結果、美しいランドスケープと調和した都民の記憶の玉手箱として、本館の活用を検討するという前向きな姿勢を都が示すに至りました。地域住民、内外の建築家という民意が小池都政を動かしたのです！

新年度に都が掲げる「サステナブル・リカバリー(持続可能な回復)」の象徴として、本館の長寿命化実現を果たすべし。慣れ親しんだ水族館が生かされ続けることで、この理念を都民が実感できるのですから。

Reiko's Voice

上田の総括

独自提言で、いち早く政策実現！

「自由を守る会」は都民の要望を受け、ピンポイントで要請活動を即実施し、小池都政に先んじて解決を図っております。今後もコロナ対策を始め、都政に関するご意見をお寄せください。

2020年2月27日	本会議開会中というのに、どの会派も質疑をしなかったことから、公立小中学校における休校を求め即日実現。
2020年3月5日	都立墨東病院でマスク不足から一週間交換せず使用するよう指示していた事実をつきとめ、緊急補充を実現。
2020年5月14日	登園自粛にあたる認可外保育園利用者として事業者への支給を実現。 大手を含めた時短営業「感染拡大防止協力金」対象拡大をこの時点で先んじて求める。
2021年1月13日	大手飲食チェーンが時短協力金支給対象から除外されていたことを事業者とともに訴えメディア報道に。 世論を動かし実現。
2021年1月15日	2度目の緊急事態宣言発出に伴い生活福祉資金(特例貸付)等を緊急要望。 総合支援資金の再貸付(最大60万円)が実施。

自殺に関する相談窓口

一人で抱え込まず相談を。心配な方への声がけも何卒よろしくお願いします。

●東京都こころといのちのほっとライン
(午後2時から翌朝5時30分まで/年中無休)

0570-087478



都議会-NEWS

2021
春号

発行人/東京都議会議員
〈江戸川区選出〉上田令子

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18

Tel & Fax: 03-3878-9032 Mail: uedareiko@gmail.com

皆様の声
をお寄せ下さい！